

議会改革特別委員会検討事項（平成29年2月22日）

《2月14日実施の東京都千代田区における行政視察を踏まえた議事堂のあり方についての意見交換》

草加新政	公明党	共産党	自由市民クラブ
<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリー、ユニバーサルデザインは望ましい形であった ・議場の利活用という点についてはしっかりと考える必要がある ・採決結果がスクリーンに表示される等、目で見て分かるのはよい ・「こうだからできない」ではなく、「こうすればできる」という可能性の発想を 	<ul style="list-style-type: none"> ・議場をどう市民開放するか、具体的に考えなければならない ・セキュリティが厳しすぎることで不便さを感じた ・不意な来客に対応できる談話スペースがあるとよい 	<ul style="list-style-type: none"> ・議場のあり方を考える際、バリアフリー、市民開放、時代の変化への対応の3つの視点がある ・議場の机等の移動が可能であれば、バリアフリーや時代の変化に対して柔軟な対応ができる ・議場の市民開放はセキュリティや使い勝手の問題で、あまり効果を発揮しないのではないか ・行き過ぎたセキュリティはどうか ・傍聴席を一定数確保するのはよいが、傍聴席を2階とする場合、傾斜はなだらかに ・2～3人用の議員控室よりも、ある程度広い部屋を可動式のパーテーションで区切る方がよい ・議員控室の他に応接室を確保したい 	<ul style="list-style-type: none"> ・議場の市民開放にはある程度の制限を設けた方がよい ・議員控室は一人当たりの平米数をもう少し広くし、議員個人用の机と椅子などが配置できるよう、スペースに余裕を ・議員控室及び応接室はプライバシーに配慮するとともに、壁で固定された部屋と可動式のパーテーションのある部屋の両方を用意することはできないか ・必要最低限のセキュリティを ・IT化という観点から、投票システムについては参考になった

《政務活動費の総額について》

項目	草加新政	公明党	共産党	自由市民クラブ
政務活動費の総額について	<ul style="list-style-type: none"> ・執行率に合わせた額に見直しを ・同規模自治体である関東近辺の旧特例市で月額5万円を超えているのは水戸市と厚木市の2市のみであり、他の8市は月額5万円以下のため、その状況を勘案すると月額5万円程度が適当ではないか 	<ul style="list-style-type: none"> ・同規模自治体である旧特例市の平均等を勘案し、月額5万円が妥当ではないか 	<ul style="list-style-type: none"> ・月額5万円でもまとまるのであれば賛成 	<ul style="list-style-type: none"> ・100%以上使っても執行率は100%止まりであり、数字に表れてこない部分もある ・報酬と政務活動費をあわせて総合的に判断を ・IT化など、これからの議員の活動を考え、減額するとしても月額7万円